

市内景気動向調査結果

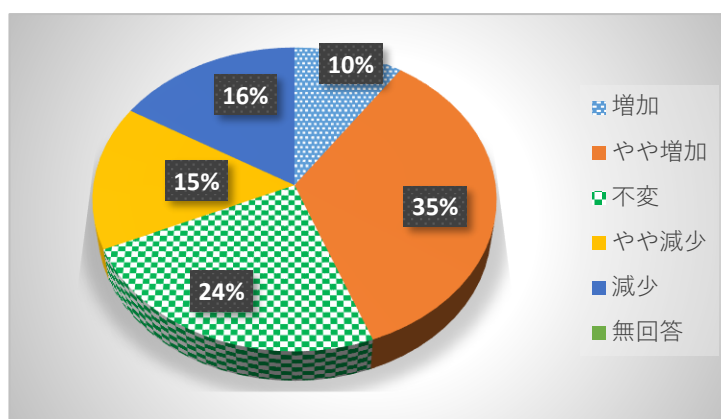
この調査は、第3四半期（本年10月から12月）と前年の同期間（3ヶ月）を比較し当商工会員より回答いただいたものです。

有効回答数	建設業	製造業	運輸業	卸小売業	サービス業	その他
104	27	17	9	17	25	9

※その他は、回答数が少なかった不動産業、金融保険業、飲食業、

1. 売上高はどう変化したか。

増加	10
やや増加	36
不変	25
やや減少	16
減少	17
無回答	0
合計	104

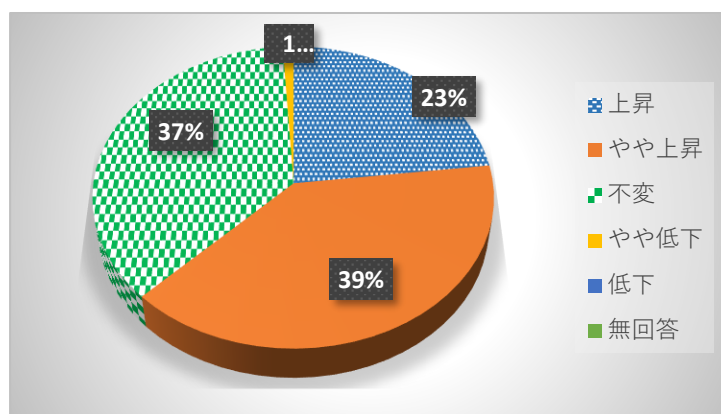


【コメント】

- 増加・やや増加が44.2%、不変が24.0%、やや減少・減少が31.7%であった。前期は、増加・やや増加が37.0%、不変が21.2%、やや減少・減少が41.8%であった。売上高は増加傾向にある。
- 増加・やや増加の業種割合は、運輸業が66.7%、製造業が58.9%、サービス業が52.0%、卸小売業が35.3%、建設業が29.6%であった。
- やや減少・減少の業種別割合は、卸小売業が47.1%、建設業が40.7%、運輸業が33.3%、製造業が29.4%、サービス業が16.0%であった。

2. 仕入単価はどう変化したか。

上昇	24
やや上昇	41
不変	38
やや低下	1
低下	0
無回答	0
合計	104



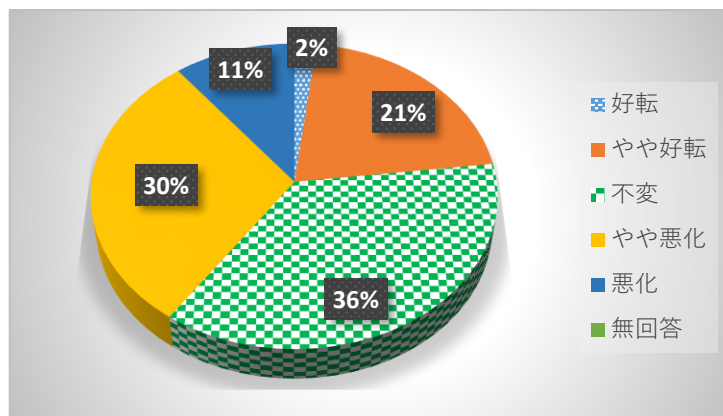
【コメント】

- 上昇・やや上昇が62.5%、不変が36.5%、やや低下・低下が1.0%であった。前期では、上昇・やや上昇が54.1%、不変が39.0%、やや減少・減少が5.5%であった。原材料や燃料費の値上がりが大きく影響している。
- 上昇・やや上昇の業種別割合は、製造業が82.4%、建設業が74.1%、運輸業が66.7%、その他が55.6%、卸小売業が52.9%、サービス業が44.0%であった。

- 新型コロナウイルスの世界的感染拡大による各種生産量の低下、物流の停滞、世界情勢の不安定化による原油高などが要因となっており、今後しばらく続くと予想される。

3. 採算について

好転	2
やや好転	22
不変	38
やや悪化	31
悪化	11
無回答	0
合計	104

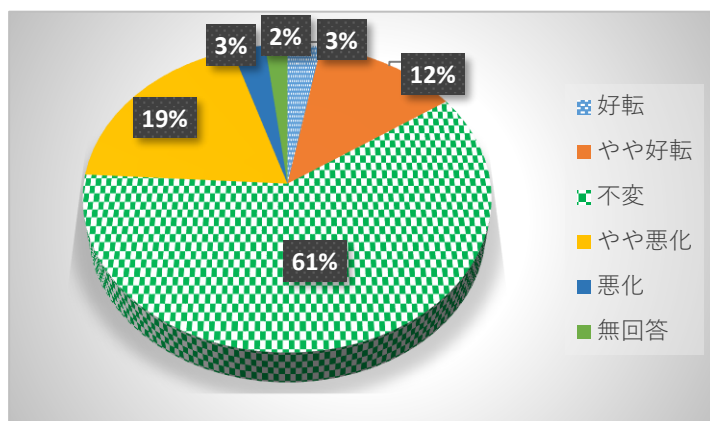


【コメント】

- 好転・やや好転が23.1%、不変が36.5%、やや悪化・悪化が40.4%であった。前期の好転・やや好転が23.3%、不変が34.2%、やや悪化・悪化が41.8%であった。
- やや悪化・悪化の業種別割合は、サービス業の32.0%以外、全ての業種で40%以上となった。売上高は増加しているものの仕入単価の上昇が採算悪化に繋がった。

4. 資金繰りについて

好転	3
やや好転	13
不変	63
やや悪化	20
悪化	3
無回答	2
合計	104

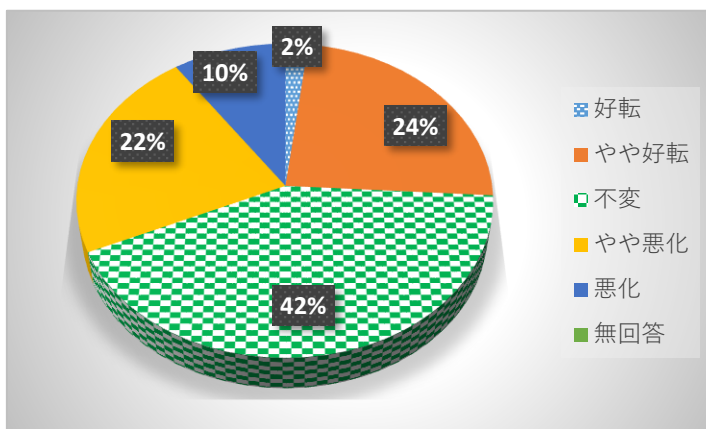


【コメント】

- 好転・やや好転は15.4%、不変が60.6%、やや悪化・悪化が22.1%であった。前期の好転・やや好転が13.7%、不変が61.0%、やや悪化・悪化が24.0%であった。前期と余り変わらない状況であるが、採算の悪化が今後の資金繰りに影響することが予想される。
- やや悪化・悪化の割合で建設業は前期16.2%であったが、今期は29.6%となった。売上減少、仕入単価上昇の割合が大きかった。

5. 業況について

好転	2
やや好転	25
不変	44
やや悪化	23
悪化	10
無回答	0
合計	104

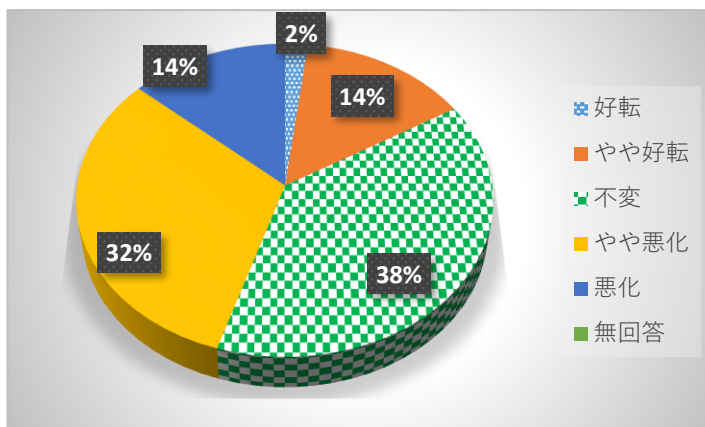


【コメント】

- 好転・やや好転は26.0%、不変が42.3%、やや悪化・悪化が31.7%であった。前期は、好転・やや好転が25.3%、不変が39.0%、やや悪化・悪化が34.2%で、若干悪化傾向のある。
- 業況悪化の割合が高い業種では、卸小売業が41.2%、建設業が37.0%、運輸業とその他が33.3%であった。

6. 今後3ヶ月間の業況について

好転	2
やや好転	15
不変	40
やや悪化	33
悪化	14
無回答	0
合計	104



【コメント】

- 好転・やや好転が16.3%、不変が38.5%、やや悪化・悪化が45.2%で、前期では、好転・やや好転が32.9%、不変が40.4%、やや悪化・悪化が26.0%であった。
- 原材料等の高騰、感染力が強いオミクロン株の流行による社会活動の停滞など経済への悪影響がこれまで以上に懸念される。

■回答事業所からのコメント

【建設業】

- 売上の大半が改修物件ですが、今年度は、ほぼなく今後も見通しの立たない状況です
- 人件費、材料仕入の高騰に、営業利益が追いつかない
- 仕入単価上昇のため、業績が上がらなかった
- 12月完成予定の現場があり売上が若干向上した。引き続き照明器具、高圧ケーブル等の納期的大幅な遅れ、または受注停止等により納期正常化には時間を要すると思われる

- 仕入単価が上がり採算に影響を及ぼしていますが、営業努力で多少売上は上がっています。しかしながらトータル的には厳しい状況にあります
- コロナの影響で全く先が見えない状態が続いています。仕事の予定があっても先延ばし等、予定も変わっていきます。不安な状況が続きます
- 公共事業を中心に受注しているので、総売上は変動が少ないが、年度当初の着工遅れにより各月の売上にバラツキが多い年となったため、採算を確保するのに苦労した。今年度の受注工事が2月にほぼ完了するため、その後の売上は減少すると思われる、新規物件の受注を道外に向けなければならない
- 10月～12月の売上は若干減少しましたが、年間を通して採算は安定していました。今年も1月より受注見通しも立っており業況も「やや好転」としました
- 工事の受注がコロナの影響で遅れ、後半になり売上高増加に繋がった。しかしながら材料の仕入単価も上がり、人件費も上昇しているため、業績はやや悪化している
- ここ数年、例年どおり。ボールパーク関連の恩恵は受けているが、その分、下請受注が減少しているため、2～3年後どうなるか
- 受注高の変化はありません
- 昨年受注した工事および除雪が3月末までに完了するので、その他の売上はほとんどない
- 建設業の構築物解体業ではアスベストの検査、除去が今年はより一層厳しくなり、その経費がかなり高く上乗せになりますので、お客様の負担も増えて業況は厳しくなると考えています
- 昨年9月下旬頃から世界的な半導体不足で、住宅機器（給湯器、IHヒーター、ウォシュレット、便器）をはじめとする輸入品が、海外でのコロナ感染拡大の影響により運送途中で滞り、国内に入荷していない。または遅延する状況で、契約も施工もできない状況が続いている
- 建設業は通常、繁忙期でありながら雨の日が多かったため、工事の進みが遅れ予定の売上に達していない

【製造業】

- 部品調達難（納期遅延）、人材不足
- コンビニへの売上が100%のため。コンビニの売り上げが上がらないと当社もあがらないため
- 色々な物不足で大変です
- コロナの影響で人の流れが抑制され、昨年は業務用製品が壊滅的な状況でした。ここ最近、少しずつ回復傾向にあるものの、コロナ前からはほど遠く、家庭用製品の需要も落ち着きつつあることから、全体としては大きく変化はありません
- 原油価格の高騰による収益悪化
- 新型コロナウイルスの影響により、主力の風邪薬は需要が落ち込んでいたが、徐々に回復の兆しが見えつつある。しかし今後の感染状況により業況は不安定さを抱えている
- 油漏洩事故対応業務が前年比△247,779千円のため売上減
- チラシの新聞折込、フリーペーパー等の広告を北広および近隣エリアにいったため、業績がやや好転した
- 冬期間に加え、中小の建築が減っている。材料の高騰
- Q2は新規ルートからの受注増。Q7は季節的影響による減を新規ルートでカバー
- 在庫過多が落ち着き通常の販売状況に戻りつつある。今後についてはコロナ禍前の販売は確保できる見込み

【運輸業】

- 最低賃金の上昇。軽油単価の高騰。部品代、タイヤの値上げ
- 需要減少による設備投資の停滞
- 新規案件の運行開始のため、売上増になり採算性等も好転している
- 観光業界としては道外、海外からのお客様が来道しないと大きな商売とはならない。待つしかない。バスは特に団体でしか扱えないためターゲットが決まってしまう

- 売上は微増していますが、感染防止対策によるマスク等の保健用消耗品費の増加。原油高による燃料代の高騰で経費が増加しており、今後も続くと考えている
- 建設業界は上向きであるが、関連する運輸業では燃料等は値上げ、冬期間は受注減少

【卸小売業】

- 折込チラシの減
- コロナの影響
- 冬期間でも予約が入ってきているため
- コロナによる影響が低下したため
- 緊急事態宣言の解除以降より業況悪化傾向が続いています
- 催事ができなくなると、そのまま売上ダウン。商品の管理も影響を受けている
- コロナウイルスの規制等の影響だと思えます
- 7~9月が悪かった分の反動か。オミクロンでまた悪化すると思う
- 春期の作業のため（肥効率の高い有機質肥料の購入依頼があり若干売上が好転すると思われます）
- 巣ごもり需要の影響により、インテリア、ペット自体の販売が微増。またコロナの影響によりウッドショックや半導体の値上げと品薄状態が発生し、一般ルートで購入ができなくなりホームセンターに流れてきた。確保していた在庫が全て売れる等して業者関連商品特需があり、売上を確保できた。しかし一般向け消耗品等の販売減少が続いている。今後もペットは安定して推移すると思われるが、特需の反動、消耗品に関してはE C（電子商取引）発展で減少傾向が見込まれる

【サービス業】

- 緊急事態宣言の解除に伴い、人流が増加したため。ただし、コロナ以前の売上までに回復するには至らない
- 人材不足以外は変わりなし
- コロナの感染状況に落ち着きが見られたことにより、通塾させるきっかけとなったと感じています
- 新型コロナに対する不安、外出控え
- 北広島市や札幌市での工事量が増え、増収基調も原価高により採算の悪化が著しい
- コロナによる経済活動の低下
- コロナ禍で生活のリズムが変わり来店間隔が長くなるなど、コロナ感染症以前と生活や経済が変化したと思う。光熱費や商材仕入なども値上がりしているため、売りに係る経費が変わり思わしくないと思う
- 8月から新規事業が動き出したので、昨年との比較では売上アップ、資金繰りダウン、採算ダウンとなりました
- コロナ感染者数は減りつつも取引先（医療機関）でコロナ病床の確保等影響を受けた。今後はオミクロン株等により状況の悪化が懸念される
- クリーニング業界は依然として各種コロナ感染の影響に伴い不透明感が継続している。世界的な燃料費の高騰・単価上昇が続いており、ボイラー使用による燃料費増加が相当な経費圧迫となっている。また各種資材関係の値上げも伴って、年度末へ更に収支状況が悪化すると予想できる

【その他】

- 原材料の高騰
- 未だコロナの影響がある。仕入単価の上昇と気候の変化による農作物等への影響による物価全般の上昇
- 不動産賃貸なので、今のところあまり変化ありません
- お客様の活動や来店数は少し増えたかと思いますが、雪の多い1~3月は天気によって客足がかなり左右されるかと思われます
- ダンス教室においては、オミクロン株流行により新規入会者の減少が見込まれる。保険業においては企業のコストカット等により減収が見込まれる
- 原材料が値上がりしている。肉は160%、玉ねぎ200%です。備品も少しずつ値を上げています